



またよろしく、です。

桜が散り、気がつけばもうゴールデンウィークが目の前までできています。前回のコラムで書いたとおり、定年退職後、再び園長として雇って頂き、心機一転、新入生のような気持ちで臨もうとした矢先、九州熊本地方を中心に大規模地震が発生しました。被災された方や犠牲となられた方には心よりお見舞い申し上げます。

今回の地震は、東日本大震災の時とは違い、津波こそないものの、内陸部を震源とする激震は建物や公共施設に甚大な被害を生じさせました。また山崩れや地滑りなどの自然災害も発生させています。いつまで続くかわからない余震の恐怖と闘いながら避難生活を続けている方々の心労はいかばかりでしょうか。そんな中、熊本市動植物園では獣舎や園路に被害を受けたものの動物たちはみな無事だったという知らせを聞き少し安堵したところですが、しばらく休園するなかで職員の皆さんは日夜復旧や飼育作業を続けるわけで5年前の東日本大震災の当園の状況が思い起こされました。その時は、九州の動物園や水族館からたくさんの支援物資が当園に寄せられ、非常に励まされたことが昨日のように思い出されます。熊本市動植物園もその中に入っていましたので今度はこちらが恩返しをする番です。早速当時多少なりとも被災を受けた北関東・東北の園館に声をかけたところ、6園館のみなさんに快く賛同して頂き、今回当園を中継地として支援物資を送りました。報道などによると、道路や鉄道などは少しずつ復旧に向かってるようで現時点で余震も少なくなってきたような感じを受けますが、どうか一日も早く平穏な生活に戻られることをお祈ります。



「5年前当園に届けられた支援物資」

話はかわって、昨晚8時過ぎ、家に戻るとどこかからジーーンという音が聞こえてきました。それはアブラゼミのような、高圧線の下にいるような、かなり機械的な音でした。音の方向を探っていくと、どうやら庭のサザンカのほうから聞こえてきます。葉っぱをかき分けひと際大きくなった声の主を探すと・・・見つけた！褐色のバツで、調べるとクビキリギスでした。当園でも秋のバツ展で展示したことはあるのですが、春先にこんな大きく鳴いているとは知りませんでした。クビキリギスは成虫のまま越冬するようでどうやら恋のお相手を探していたようです。昆虫たちにも着実に春は訪れているようですね。



«見つけた»

※クビキリギスは噛む力が強く、喰いついたものは離そうとせず無理に引っ張ると首ごと切れちゃうことからつけられたとか。やってみたい衝動を何とか抑えました。

(システム上、こちらに動画がアップできないのですが、私(生江信孝)のフェイスブックのほうで鳴き声が聞けます。)

2016年4月24日

過去の一覧

[令和6年](#)

[令和5年](#)

[令和4年](#)

[令和3年](#)

[令和2年](#)

[令和元年](#)

[平成30年](#)

[平成29年](#)